

課題設定

(体験・気付く)

西田小学校や西田の町を歩きながら、動植物の様子や、人々のくらしを見てみよう。

小学校へようこそ

①1年生の気持ちを考えながら、自分たちがしてあげられることを考え、学校案内をする。

どんな生き物がいるのかな

②身近にいる生き物に興味関心をもち、それらが見つかる場所を教え合い、探しに行きたいという思いや願いをもつ。

にしたの町をさんぽしよう

③西田の町にあるお気に入りの場所や、通学路で見つけたおすすめのことを道カードに描き、紹介しよう。
④学校を中心に道カードを並べ、行ってみたい場所や会いたい人などについて話そう。
④お気に入りの公園を見学し、公園マップを描き、紹介しよう。

ステージ1

(体験・気付く)

実際に町に出かけ、様々な町のよさを発見しよう。

みんなでたしかめに行きたいな

①道カードや学校周りの地図をもとに、町探検の計画を立てる。

町たんけんにしゅっぱつ

②安全に気をつけながら町探検をして、様々な町のよさを発見する。
③諸感覚を使ったり、これまでの経験を想起したりしながら、いろいろな発見をする。

はっけんしたよ 町のこと

④探検中に撮影した写真や地図を見ながら、町探検をふり返り、カードに発見したことを書き出し、次の探検への思いを強める。
⑤印象深い出来事や、発見したこと、うまくいかなかったことや、予想外であったことも記録し、共有する。

ステージ2

(考える・工夫する)

訪問先のいろいろな仕事について、気になる点をたずねたり、実際に体験してみたりしよう。

はっけんをもっとあつめよう

①インタビューで行きたい場所を決め、訪問先で実際にやってくることを相談したり、調べ方の工夫をしたりする。
・町の人にどんなことを聞くかを考え、計画を立てる。【本時との関連】

はっけんしたよ いろいろなしごと

はっけんできたよ 町のたから

②訪問先のいろいろな仕事について、気になる点をたずねたり、実際に体験してみたりする。
③町の人々のいろいろな仕事や活動を「町のたから」としてとらえる。

ステージ3

(まとめる)

町探検を通して調べたり考えたしたことをもとに、思いや願いを話し合い発信しよう。

みんなに教えてあげたいな

①町探検で調べたことを、発表するために、発表の仕方や中身を考え、準備をする。
②発見した素敵な人・もの・自然が町のたからであることを確認し、クラスとしてこれからどのような活動をしたいか話し合う。
③町の人に探検のお礼と、自分たちの発表を届けることができないか考える。

町のたから もっと広がれ (ESD子供報告会)

④町探検で調べたり、考えたりしたことを発表する。
⑤発表会に来られない町の人に伝えるにはどうしたらよいかを考える。
⑥町探検の学習を振り返りまとめる。

情報収集力

整理・比較力

表現力、発信・伝達力

郷土愛、コミュニケーション能力

国語「きせつのことば」

道徳「ひかり小学校のじまはね」(よりよい学校生活)

国語

「じゅんばんになったらぼう」
自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く。
「かんさつ名人になろう」
必要な事柄を集めたり、確かめたりする。

国語

「あつたらいいな、こんなもの」
「ともだちをさがそう」
相手が知らせたいことや、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉える。
「メモをとるとき」
必要な事柄を集めたり、確かめたりする。
「そうだんにのってください」【本時】
共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。

道徳

「あいさつっていいな」礼儀
「ながいながいつうがくろ」郷土愛

国語

「こんなもの、見つけたよ」
「馬のおもちの作り方」
事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。
「ことばでみちあんない」
相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える。
「主語と述語に気をつけよう」
文の中における主語と述語の関係に気付く。
「楽しかったよ、二年生」
声の大きさや速さなどを工夫する。

道徳

「じぶんがしんごうきに」感謝

単元目標

- 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
- 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。

児童の実態

第2学年の児童は、元気が良く、友達と積極的に関わる力がある。また、自分の思いを伝えることが大好きで、多くの児童が、担任に近況を伝えようと担任の周りに集まっている。しかし、児童同士の関わりを観察すると、一方的に自分の話を伝えている場面を多く見かける。授業内の様子でも、相手の話に共感の気持ちを示したり、感想を言ったりすることが苦手な児童が多い。

本単元では、相手の発言を受けて話をつないでいく活動を経験させることで、相手の発言を聞くことが、自分の考えを生み出すきっかけになることを感じ、話し合うことの楽しさを実感させたい。

単元観

①単元の概要

本単元は、相談したいことを話題に、話し合いの基盤となる「互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、話をつなぐこと」の力をつける単元である。相手の困りごとを受け止めたうえで、関連した発言をすることで話をつないでいくという流れを理解することが求められる。

ここでは、答えを出すというより、受け止めてつないでいくことが大切であることに気づかせたい。

②本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・自分と身近な人々、社会との関わりに興味・関心をもつ力

【郷土愛】

- ・尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う力

【コミュニケーションを行う力】

- ・情報を取捨選択したり、分類・整理したりする力
- ・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる力

- 誰一人取り残さないための工夫 ※ICTの活用などを通して
 - ・ヒントカード…質問項目が思いつかない児童には、ヒントカードを渡す。ヒントカードには、質問の例示をする。
 - ・「はんのうのあいうえお」…友達の意見に対する反応を例示する。
- 共同的な学び
 - ・友達の困り事を聞き、解決のために協力する課題設定
 - ・学習形態の工夫…グループでの話し合いにすることで、自分の考えを豊かに広げる。
 - ・実際に町たんけんで訪れる施設への質問内容を考えることで、意欲向上につながる。
 - ・友達の訪問先の質問内容を考えることで、自分が訪問しない場所への思いを友達を通して伝える事が出来る。
 - ・西田の町で働く方々との関わりを通して、互いに支え合って暮らしていることに気付くことができる。
- 本単元での用語（指導案上）
 - ・相談…訪問先の異なるグループに分かれ、どんな質問をしたらよいかアドバイスをする場
 - ・質問項目…「相談」の際に相手に伝える提案
 - ・質問内容…実際に訪問先で質問する事柄

情報活用能力の育成について

- 重点とする能力
 - 情報を取捨選択したり、分類・整理したりする力
- 方法
 - ・話し合いで挙げたアドバイスを付箋に書き込む。
 - ・質問項目を内容ごとに分類する。

単元の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②相談する話題を決める。
- ③話し合いのしかたを確かめる。
- ④グループで実際に話し合い、相談について考えを出し合う。
- ⑤友達のアドバイスをグループで整理する。【本時】
- ⑥話し合っよかったことを振り返り、学習をまとめる。

本時の授業デザイン（5時間目／6時間）

本時の目標

- 情報を取捨選択したり、分類・整理したりすることができる。
- 友達と話し合うことのよさを振り返り、これからいかにそうとしている。

評価規準と手立て

評価規準 情報を整理・分析する力

- 知・技：共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、情報を取捨選択する。
- 思・判・表：話すこと・聞くことにおいて、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
- 態度人間性：相手の発言に関心をもって取り組んでいる。

授業観察の視点1【情報活用能力の育成の視点】

付箋を活用し、質問内容を検討したり、友達と自分の考えを交流したりすることで、情報活用能力を育成できたか。

- ・付箋を使うことで、分類しやすくした。
- ・基準をもって順番を入れ替えたいときに有効な手段として付箋を活用した。
- ・今後、タブレットの使用に慣れ親しんだ上で、ムーブノートやロイロノートも活用していきたい。

授業観察の視点2【ESDにおける価値観育成の視点】

○質問内容を整理することで、他者と協力する態度やコミュニケーションを行う力を育成できたか。

- ・相談することで、訪問先ではない施設やお店への関心を高め、疑問や思いを友達に託すことができるようにした。（前時）
- ・目的（訪問先）が同じ少人数でのグループ活動にした。
- ・国語科の授業を生活科の町たんけんの質問内容を広げる活動に位置付けることで、相手意識をもちながら質問を整理できていたか。

学習の流れ

①
導入

◆前回の「相談」について振り返り、本時のめあてを確認する。

インタビューにむけて、しつもんのないようを決めよう。

②
展開

◆町たんけんのグループに分かれ、「相談」で提案された質問項目を報告し合う。

T：前回の「相談」で友達からもらった付箋を、グループのみんなで確認しましょう。

◆質問内容を整理し、決定する。

T：同じ質問をまとめましょう。

S：「いつから働いていますか。」と「お店が作られたのはいつですか。」は、似ているから、同じでいいかな。

S：「営業時間は何時からですか。」と「何時から働いていますか。」は、同じでいいのかな。

S：「どうやって作っていますか。」という質問が多いね。

T：どんな順番でしつもんしていくとお店の人が答えやすいかな。

S：「働いていてよかったと思うときはどんなときですか。」は、最後がいいと思う。

S：「何種類ありますか。」のあとに、「おすすめのメニュー」を聞くのは、どうかな。

③
終末

◆今日の学習を振り返る。

T：今日の学習を終えて、感じたことを書きましょう。

S：友達の意見を聞いて、より良い質問が考えられた。

S：インタビューに行くのが楽しみになった。

S：次は、誰が何を質問するか決めたいな。